

目標達成計画

作成日: 平成31年4月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	今年度グループホーム協会から「虐待防止」についての指導があり、身体拘束廃止に関する指針の見直しを行った。介護指定基準における禁止対象となる具体的な行為などを正しく理解を行っていく。	ほがらか身体拘束検討委員会を実施しながら身体拘束をしないケアの取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○身体拘束においてのマニュアルの見直し ○ミーティングでの振り返り ○接遇面での見直し ○拘束しないケアの取り組み 	12ヶ月
2	12	入居時に重度化指針について書面で交付し説明同意は得ているが、今後重度化が予測される方へご家族や主治医と連携強化はどのように行っていくか。	看取り介護における勉強会を実施し、入居者様、ご家族様においての精神的ケア等の状況を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○看取りマニュアルの見直し ○職員の勉強会の実施 ○ご家族様への事前指定書の再確認 ○事例などにおいての研修会の実施 	12ヶ月
3	15	入居者様と職員が同じテーブルで一緒に会話しながら食事をする事で、楽しい食事時間になるのではないか。	職員の業務見直しを行い一緒にテーブルで食事時間が取れるように体制を見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の業務見直し ○食事時間においての職員の意識づけ ○入居者様の嗜好を知る ○職員同士の情報交換行う ○栄養課の協力を仰ぐ 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。